

劇団 東京フェスティバル 第10回公演

舞台

泡

作・演出 きたむらけんじ



朝倉伸二



天宮良



滝寛式



近江谷太郎



小林美江



高畑こと美



竹尾一真



川俣しのぶ

2012年 7月11日(水) ~ 16日(月祝)

上演日時

2012年 7月

11(水)	12(木)	13(金)	14(土)	15(日)	16(月)
			14:00	14:00	13:00
19:30	19:30	19:30	18:00	18:00	17:00

場所 「下北沢 OFFOFF シアター」

小田急線 下北沢駅南口下車 徒歩1分
世田谷区北沢 2-11-8 TARO ビル 3F 03-3424-3755



※ 受付・開場は開演の30分前からです。
※ 開演後は、お席にご案内出来ない時間帯、または指定のお席を変更させていただく場合がございます。
※ 当日精算券のお客様で開演の10分前までに劇場受付にて精算がお済みでない場合は、ご予約が解除されることがございます。お早目のご来場をお待ちしております。
※ 未就学児のご入場はご遠慮ください。※ 劇場の構造上、車椅子でのご入場はできません。

チケット 一般発売開始 6月9日(土) ● チケットぴあ
料金：全席指定 4500円

Pコード：421-404 電話番号 0570-02-9999 <http://t.pia.jp> (PC/ 携帯共通)

制作：コマンドエヌ 製作協力：重留定治 舞台監督：青木規雄 音響：香田泉 照明：たなか一絵 美術：渡辺佳子
協力：オフィスPSC、アクトレインクラブ、エンパシィ、はえぎわ、パイ・ザ・ウェイ、ママリーハウス、LDH 企画製作：劇団東京フェスティバル

作・演出 きたむらけんじ

あらすじにかえて・・・

ソープへ行きたい！

2012年2月。東日本大震災から1年を迎えるにあたり、ボクが放送作家として関わらせてもらっているラジオ番組で福島県を取材しようということになった。さて、どこへ行こうか・・・。行くなら、あまり大手メディアが取り上げないような視点で取材したい。いろいろな案があるなかで、ボクが引かなかったのは「小名浜のソープランド街が一時期、原発事故復旧のための作業員たちで大盛況だった」という噂。調べてみると、盛況だったのは、復旧作業が本格化した5月から6月にかけて、ほんの2ヶ月足らずのこと。それ以降は、東電から作業員たちに対して夜間の外出禁止令が出たため、ソープ街から人通りが消えたという。震災と津波、そして原発事故で、あらゆる産業が大打撃を受けて復旧もままならないといわれていた頃、ほんのいつか活況だった街がある。そこから見えて来る震災の姿があるのではないか・・・。「小名浜のソープへ行きましょう！」こうして小名浜行きが決まった。

人生は「泡」を避けては通れない

「ソープランドで人気No.1の泡姫（ソープ嬢）は美人とは限らないんだよ」。取材を終えて帰り支度を始めたボクたちに、ソープランドのオーナーは語ってくれた。では、どんな泡姫がNo.1なのか？ ボクらは帰り支度の手を止めてオーナーの話に聞き入った。その答えは、すべての社会人に当てはまる「仕事の真理」だった。その瞬間、ボクはソープの世界に引き込まれた。それから1ヶ月後、再び小名浜の地にいた。目的は戯曲執筆のためという個人的なものへと変わっていた。漁業関係の方からは東京電力から支払われている休業補償の実態や、小名浜のソープ街と漁師のつながりについてお話を伺った。さらに、別のソープランドでは復興と風俗店の意外な関係を知ることになる。そうした取材を通して、ボクはひとつの視点を手に入れた「人生は泡を避けては通れない」それはいったい、どういう意味か？OFFOFFシアターでお確かめ下さい。



劇団 東京フェスティバルとは？

放送作家 きたむらけんじ によるプロデュースユニット。公演ごとに役者さんへ出演交渉。コメディからシリアスまで幅広く、芝居に興味がない社会人の方でも映画感覚で楽しんでいただける、大人のエンターテインメントを上演中!!

きたむらけんじ
J-WAVE 「JAM THE WORLD」 TBS 「まちドラ」
InterFM 「神宮前センタービル」
テレビ静岡 「個店へGO! エピソード1」
DVD 「アンタッチャブル山崎弘也とゆかいな仲間たち」
などテレビ・ラジオの放送作家として活動中。

お問合せ

視点を変わると毎日はお祭りになる！シンプル・リアル・コメディ

劇団 東京フェスティバル

✉ info@tokyofestival.com

www.tokyofestival.com

劇団東京フェスティバル

検索！